

桶地内団地と飯樋町集会所の竣工を祝いました



竣工式は、新しい飯樋町集会所の前で行われました。関係者がテープカットをして施設の完成を祝いました

桶地内団地の住宅10戸と、飯樋町集会所が完成し、4月3日に竣工式が行われました。住宅は、2LDK・3LDKが各5戸で、それぞれ一戸建て。2LDKにはバリアフリー対応のタイプもあります。また、明るいデザインが目を引く集会所の前には、屋外ステージもつくられました。式では、熊谷清区長があいさつし、「新しい施設を拠点として、活動が盛んな地域を目指していきたい」と語りました。村営住宅の入居募集は、随時行っています。応募要件がありますので、詳しくは、建設課建設管理係☎0244-42-1624 までお問い合わせを。

9人が50ポイント達成！ 元気アップポイント表彰式

3月27日、県青少年会館の体育館（福島市）で「元気アップポイント表彰式」が行われました。元気アップポイントとは、スポーツ事業や趣味の講座など、生涯学習事業の参加者に付与されるポイントで、50ポイントが貯まると表彰の対象となります。式の会場となった体育館は、震災の翌年から6年間にわたり、村民を対象に週1回の無料開放を行ってきました。表彰式は、その最終の開放日に合わせて行われ、50ポイント達成者に、表彰状と5,000円分のクオカードが贈られました。



和気あいあいと体育館で活動してきた皆さんも表彰式に出席し、ポイント達成者に拍手を送りました

鳥獣被害対策実施隊 新年度の活動をスタート



菅野村長が委嘱状の交付を行い、取り組みへの感謝を伝えました。「今年度もよろしくお願いします」

4月5日、「鳥獣被害対策実施隊」（菅野満郎隊長／深谷）の編成会議において、委嘱状の交付が行われました。同隊は、村内で有害鳥獣の捕獲等を行っていて、昨年度は、イノシシ650頭、サル27頭を捕獲するなど、実績を上げています。今年度は22人が委嘱を受け、隊の活動体制が整いました。有害鳥獣の被害は全国各地で問題となっており、村でも対策を強化しています。村内で被害の現場などを目撃した際には、復興対策課農政第二係☎0244-42-1625までご連絡ください。

オオカミ絵に会いに行こう！ バスツアーは大盛況

村交流センター自主文化事業「オオカミ絵に会いに行くバスツアーⅡ」が、3月30日に実施されました。JR福島駅発着で行われたこのバスツアーには、県内外から45人が参加。遠くは熊本県からの参加者もありました。一行は、「国宝ハンター」として知られる美術ライターの橋本麻里さん、東京藝術大学准教授・八谷和彦さんの解説で、山津見神社（佐須）の天井絵を鑑賞。また、交流センター「ふれ愛館」で、およそ20人の村民と、手作りの食事を囲んで交流しました。



（上）左・橋本さんと、右・八谷さんの解説でオオカミ絵を鑑賞（左）平成25年に焼失し、同28年に復元されたオオカミ絵。表情豊かな1枚1枚に見とれます

飯樋町の火の見櫓が完成 引き渡し式を行いました



引き渡し式にて、火の見櫓の前で団長のあいさつを受ける消防団員

飯樋地区に新しい火の見櫓が完成しました。村から飯館村消防団（高野進団長／八木沢・芦原）への引き渡し式は、4月14日に、消防団第二分団機動部の屯所で行われ、団の代表に目録が手渡されました。新しい火の見櫓は、飯樋町商店街入口の交差点に面して立っています。木製で、高さは約13メートルもあり、迫力のある外観。非常時にはサイレンを鳴らすことができます。式に出席した団員の皆さんは、「立派な櫓をつくっていただいた」「活動に生かしていきたい」と話していました。

大倉集会所の落成式 新施設を祝う「大倉の神楽」

建て替え工事が行われていた大倉行政区の集会所が完成し、3月31日、現地で落成式が行われました。落成式は、行政区の総会と同じ日に行われ、多くの区民が集いました。落成式では、テープカットに続き、集会所の和室で「大倉の神楽」が披露され、地区の晴れの日を華を添えました。また、早速、総会も行われ、その後はそろって会食。手作りの煮物や漬物も並んだテーブルで、多くの出席者が、近況や今後の交流について語り合っていました。



集会所の前で関係者がテープカット。区民と共に新しい集会所の完成を祝いました